

白門経友会

新しい年を迎え、中大経済学部も

新しい一歩を踏み出そうとしています

明けましておめでとうございます。皆様はどのような新年を迎えられたことでしょうか。昨年の元旦は、能登半島地震が起こり、どのような年になるのだろうかと不安を感じさせました。実際、実に多くの事件が起こり、時代が変わりつつあることを実感させられた一年でした。

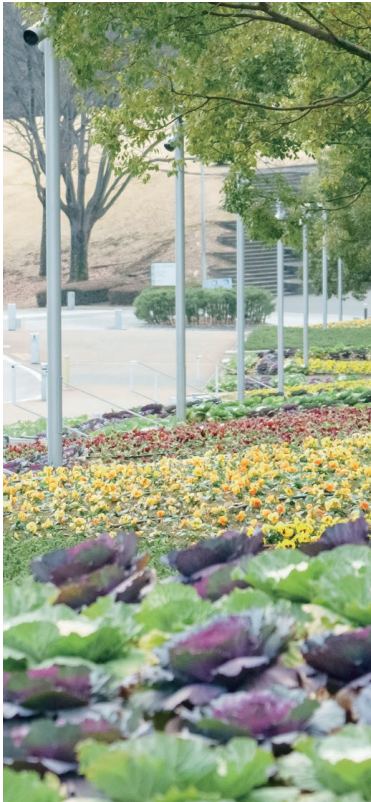
国際関係では、ウクライナ紛争、イスラエル・ガザ紛争が続き、アメリカ大統領選挙ではトランプ氏が返り咲くことになり、いよいよ予測不可能な時代が到来しそうです。アメリカだけでなく、ヨーロッパの主要国でも政局が不安定になっており、さらに隣の韓国では一時的に戒厳令が発出されるという驚くべき事件も起こりました。近年世界経済を牽引してきた中国経済の成長の鈍化についても目が離せません。

学部改革

さて、経済学部も社会状況の変化に対応すべく変わろうとしています。昨年六月の総会において学部長が「新しい経済学部の姿を検討中」とおっしゃっていた学科改編が、いよいよ具体化します。

OB・OGの皆さまの中には、馴染みのある学科名称がなくなることを残念に思われる方もおられるかもしれませんが、しかし社会情勢の変化による新たな課題に答え、経済学の高い専門的知識をもって社会的諸課題に向き合える人材を育てるためにカリキュラムをバージョンアップする一環ですので、ご理解ください。すようお願いいたします。

詳細につきましては、次号以降に於いて、順次お知らせしたいと思います。



桜広場の向かいの花壇にて、年末にかけて花の植替えがありました。葉牡丹が見事です。

本年度新任教員

紹介が遅れましたが、本年度は、任期制助教を含め、八名の方が新任教員として赴任されました。多くの若い先生方を迎えて、中央大学経済学部がさらなる発展をすることを期待したいと思います。

- おわた 庵谷 治男 准教授 (管理会計論)
- 小倉 将志 准教授 (金融論)
- かほや 蒲谷 景准 教授 (環境経済学)
- 中澤 克佳 准教授 (経済政策論)
- 堀内 英次 准教授 (産業構造論)
- 森 いづみ 准教授 (社会学)
- 陳 希 助教 (中国語)
- 仲地 二葉 助教

◆秋学期の一コマ



国際労働財団 (JILAF) の皆さんがインドネシア・カンボジア両国の労働組合役員を伴って多摩キャンパスを訪れ、阿部正浩ゼミとディーセントワークについて議論しました。(10月26日)

五七年ぶりの思い出

白門経友会常任幹事 高梨明宏

◆始めに

私は退職後十八年、傘寿を迎える元職員です。歳月の経過は早いもので、この間、囲碁、家庭菜園、ハワイアン演奏、国内外の旅行やスキー等退屈せず楽しんできた。これは偏に本学に奉職したお陰と感謝している。

◆出会い

私の楽しみは美味しい蕎麦で一杯飲むこと。月並みな趣味だが、神田まつや、上野丸井裏の藪そばなどが好みだ。自宅近くでも何軒かあるが、祖師谷大蔵のさか本に時々寄る。麺は少し太めで香り食感も気に入っている。昨年五月中旬に立ち寄った時も四〇分程待たされた。コロナの後遺症か相席はせず、一人で六人掛けのテーブルに申し訳なさそうにビールと蕎麦を楽しんでいる初老の人がいた。

私も一人であるが四人掛けのテーブルに案内された。外には大勢並んでいるので、六人掛けのテーブルの人と相席でよいですと申し出たら、

店の若い女性は恐縮して相席となった。見ず知らずの外で並んでいる人に対する配慮が昭和生まれの我々である。その相席の男性もホツとした顔をされたので、六人掛けテーブルで飲まれるのは気まずいですよね、私も四人掛けのテーブルを案内されたのですが、相席ありがとうございませう、と会釈したら喜ばれた。呑み助はすぐこんなことで気が合うものだ。

私はその方を一目見て大学の先生と推察、そちら方面の話をしたら凶星。外語大スペイン語科を出られ桜美林大学大学院国際学術研究所(言語教育)に勤められている青山文啓教授でした。そこで今は亡き福井千春先生を思い出し、そのお名前を訪ねましたら、何で福井さんの名前をご存じなのかと驚かれ、私は元中大職員で福井先生とはよく学食で一緒にして食べていました、と言いました。福井先生とはクラス仲間であったと言われ、世の中狭いと感じた瞬間でした。

◆青山先生からの質問

青山先生から言語学者らしい質問を受け、飛び上がらんばかりに驚きました。それは戦後いつの時代に履

修要項が文語調から口語調になったのか、という質問でした。一瞬にして走馬灯のように五十七年前を思い出しました。それは昭和四年の中央大学法学部履修要項からですと答えました(実は誤り)。

当時は履修ガイダンスもなく、学科別履修科目一覧と単位とは…という文部省の説明の写しのような文があるだけの至極簡単で、新入生が読んでも難解、サークルの先輩に聞いてやっと分かるような薄い冊子でした。私は昭和四三年新入職員になった十月、この履修要項の担当を命じられました。

誰に相談しても無反応、この秋から過激な大学紛争が始まり、要項の検討すらできない日々が続きました。暴力学生に机や椅子を中庭に持ち出され、その修復作業も毎日加わり、仕事どころの騒ぎではない時代です。自分の感覚で斬新なものを作れという事務長の指示もあり、学生の立場で理解しやすい要項をと考え、丁寧な説明に改めました。

文学部事務室担当者の賛同もあり、昭和四四年度から法と文で改めました。他学部は四五年から法学部のコピーでガラリと変わりました。

因みにこの時は、首都圏の大学も関西の大学も旧体依然とした体裁でしたが、その後数年でスタイルが変わりました。各大学と要項の交換をしていたので分かりました。後日調べましたら口語調は推測ですが、新制大学になった昭和二八年以降かなと思います。ただ私の新入生目録の改革では、対象年次別、月別の学部事務室手続き等分かりやすくなりました。後日これが新入生履修ガイダンスへ発展していく契機になったと思っています。



昭和44年度の「経済学部学習の手びき」。

当時は、読書百篇意自ずから通ずという時代で、分らない人が悪いという時代でした。誰でも理解できるように書く、という時代ではなかったです。中央大学では四十一年間在職中誰にも評価されない仕事でしたが、誇らしく思い出しました。これも福井千春先生のお陰かもしれ

ません。また、青山先生はセメスター制の授業で大学に通うのが少々大変と話されました。そこでまた三〇年程前を思い出しました。

◆経済学部事務室時代の提案

○セメスター制

私は四十五歳から四年間経済学部事務室に勤務していました。当時今は亡き米田康彦学部長がおられ、話せば実現してくださるかなと思いつき提案書を出しました。内容は ①半期で終了する週二回の授業：セメスター制、②他学部履修15から30単位を増やす：なんでも学べる中央大学、③夜間部の廃止：大学のイメージダウン解消策、④特別入試の再検討です。

米田学部長は私の提案書を学部長会議に提出され、他学部の賛同を募ったようですが、当時商学部長の酒井正三郎先生が賛同され、その数年後から経商で始まり、今はほぼ全国の大学で実施しているようです。この利点は、①専門科目をより集中して学べ、学習効果上がる：私の学生時代からの熱望、②隔年開講科目もあり留学に行く人来る人に単位換算等トラブル解消、③当秋入学が検討されていたが解消、でした。

○他学部履修30単位

当時は大学間競争激化が始まり、似通った科目の重複での新学部が全国で増えていました。

他学部履修を7科目も学べれば多様な学問も身に付くし、似通った学部増設の間も省けるのではないかと、また興味のある科目の勉強が一番身に付く、との考えで提案しました。これは受験生に売り物になると思いましたが、広報や学部事務室の人達には理解できなかったと感じました。受験生の話をよく聞けば分かることですが。

○夜間部の廃止

多摩移転後も夜間部は存続していました。理由は経理部の収入源の確保のためです。しかしお茶の水時代と違い地の利が悪く、嫌な言葉ですが偏差値も一段と下がり、先生方も苦慮していました。また駿河台時代からの経験ですが、優秀な人もいる反面昼間部の名声で入学し就職や結婚で昼間部と偽る人も多く、企業が採用したら学力に疑問符が付き事務室に問い合わせが多発していました。これが増々大学の名声を落とすのではないかと入職以来窓口で危惧してきました。

昭和四三年当時は窓口で昼夜の別をオープンしていましたが、四〇年代後半から個人情報対象になり、中大生の対外評価が世間から一段と低下したとの記憶があります。商学部は夜間枠を名称変更し、午後から授業を開始し存続させました。私としては全学部すでに時遅しの感はありましたが、一度落ちた偏差値を戻すは困難を極めます。

○特別入試の見直し

多摩移転頃から指定校推薦制度が流行り、本学も真似しました。私は疑問に思っていました。やはり半期でもよいから高校時代に物狂いで勉強する試験が将来役立つと感じていました。高三の一学期まで定期試験だけを頑張り大学に入るの、一般入試よりも断然楽です。学期末試験でその場限りの暗記では、大学の専門書を読み解く能力には結びつかないでしょう。

中には良い生徒がいるのは事実ですが、入試形態別の調査が必要で、退職時に司法試験合格者の入試形態別で十年程を調査したことがあります。指定校は一般の三割程度で、公認会計士試験は四割で、受かるパイを捨てたのです。推薦制度を増やし

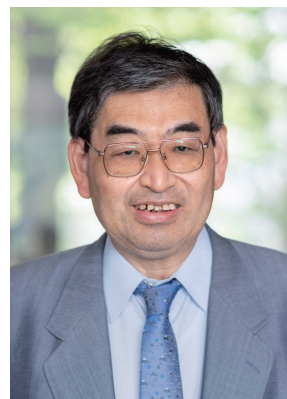
て一般入試の枠を狭める偏差値維持策は、一般受験生に見透かされ敵に回すだけで、この学生達とよく話していたので残念に思いました。米田学部長にもお話ししましたが、確信している人もおられ説得は難しく、ジリ貧になったと感じます。

また、多摩移転早々出生数が減少し始めた時、即大学の危機感を感じましたが、教職員誰一人危機感を持つ人はいませんでした。他大学が手を打つ前に策を講じなければジリ貧になります。私には考えがありましたが誰も耳を傾けず、このとき法人教学も危機感の無い風土で残念に思ったことがあります：戦略なき度重なる受験料、学費の値上げが良い例です。

運命は性格の中にある(芥川龍之介)、という箴言があります。個人、組織、国家とて然り、と思う今日この頃です。この大学を良くするには、創意・工夫・発想、知恵と戦略とその結果を職員の評価の対象にしなければ、また信賞必罰もなければ活性化しないは必定です。それが私の知る限り六〇年続いている、と思っ

定年退職を前にして思うこと

経済学部教授 浅田統一郎



私は、早稲田大学政治経済学部、一橋大学大学院経済学研究科に学生として在籍後、一九八三年四月に駒澤大学経済学部で教員として赴任し、一〇年間を駒澤大学で専任講師および助教として過ごしました。

その後一九九三年四月、中央大学経済学部で公共経済学科が新設されるに伴って中央大学経済学部に移り、それ以来実に三〇年以上を、中央大学経済学部で助教および教授として過ごし、二〇二五年三月に中央大学を定年退職することになりました。

中央大学経済学部では、一年次の必修科目である「基礎マクロ経済学」および「基礎ミクロ経済学」を長年担当してきましたが、研究テーマとしては、主として「ケインズ派マクロ経済動学」(Keynesian Macroeconomic Dynamics)と呼ばれる分野で研究を行ってきました。二月二二日に予定されている最終講義の題名も、「ケインズ派マクロ経済動学の系譜」としました。マクロ経済学は、個別の市場における価格や生産量の決定について詳細に研究するミクロ経済学とは異なり、国民所得、物価、失業率、政府財政収支、国際収支等の「集計変数」(aggregate variables)、経済全体で集計したり平均化したりして計算される経済指標)を用いて、一国経済全体のパフォーマンスを分析する経済学の分野であり、「マクロ経済動学」とは、様々な経済変数が時間を通じてどう動いていくかを、数学的解析とコンピュータを用いた数値シミュレーションを併用して分析する、理論経済学の一分野です。

ケインズ派のマクロ経済学とは、市場メカニズムが完全に機能して労働の完全雇用(非自発的失業がないこと)を伴う均衡状態(調和的な状態)が自動的に達成されることを前提にした新古典派経済学とは異なり、政府や中央銀行が適切な財政金融政策を実施しない限り、完全雇用状態を維持できないという理論であ

り、この理論に基づいて、適切な財政金融政策とはいかなる政策であるかを、理論的に解明し、政策提言を行っています。

大学院時代から今日に至るまで、私は以上の研究テーマを深く掘り下げ、一定の成果を挙げできたことを自負していますが、他方、学内行政への貢献としては、学術連盟経済学会会長(後に副会長、現在の会長は経済学部の飯島教授)、経済学部長補佐、入試管理委員会委員長、評議員、経済研究所長、学長補佐等を歴任しました。以上の役職とはやや異質ですが、個人的には、二〇〇八年一月から一年間、藤原委員長(文学部)、宮本書記次長(経済学部)、緑川書記次長(文学部)等とともに、教員組合書記長として活動し、当時の理事会が二〇〇六年と二〇〇七年に不当にも引き下げた一時金を元に戻すことができたことを誇りに思っています。この事件は当時学内で大きな問題になっていましたが、今では、ほとんど忘れられてすっかり過去のエピソードになってしまい、二〇〇九年以降中央大学に赴任した教職員には、そのようなことがあったことさえ認識されていないと思います。ちなみに、その後、私は、

二〇一一年から二〇二三年までの十二年間にわたって、経済学部選出の評議員でしたが、評議員は当局側ということになってきているため、この期間中組合員資格が停止されていたのは、皮肉なことでした。評議員の任期が切れた二〇二三年に組合に復帰しましたが、このことにより、組合員として定年を迎えることができませんでした。三〇年以上に及ぶ中央大学の在職期間中、公私にわたって良き仲間、友人に恵まれたことに、感謝しています。

引き続き、「経済学部創立百周年記念奨学金」へのご寄付を募っています

詳細は中大WEBサイトにて。経済学部トップから赤色のバナーをクリック。スマホはQRコードから。



2025年1月31日 第88号
発行 白門経友会常任幹事会
編集 白門経友会編集委員会
〒192-0393
東京都八王子市東中野 742-1
中央大学経済学部内
URL : www.wg-keiyukai.com
Fax : 042-673-3425